

摂食嚥下障害について

日本は、急速に超高齢社会化が進み、嚥下障害も増加しています。

摂食嚥下障害とは、食べること・飲み込むことの障害で、食事や水分などがうまく食べられない・飲み込めないような状態をいいます。

症状は様々ですが、

- ・うまく食べ物を噛めない
- ・口からこぼれてしまう
- ・飲み込むまでに時間がかかる
- ・飲み込めてもむせてしまう
- ・食後に痰が多くなる 等の症状が出やすいです。

他にも誤嚥肺炎、たんぱく質・エネルギー低栄養状態のリスクになります。

摂食嚥下は5つの段階に分けられており、

どこかの段階で障害されることを、摂食嚥下障害といいます。

- ① **先行期**：目で見て食べ物を認識する
- ② **準備期**：その食べ物を口から入れ、咀嚼する
- ③ **口腔期**：舌や頬を使い、食べ物を口の奥からのどへ送る
- ④ **咽頭期**：脳にある嚥下中枢からの指令で、食べ物を食道へ送る
- ⑤ **食道期**：食べ物を胃へ送り込む

摂食嚥下機能を評価するための検査には、

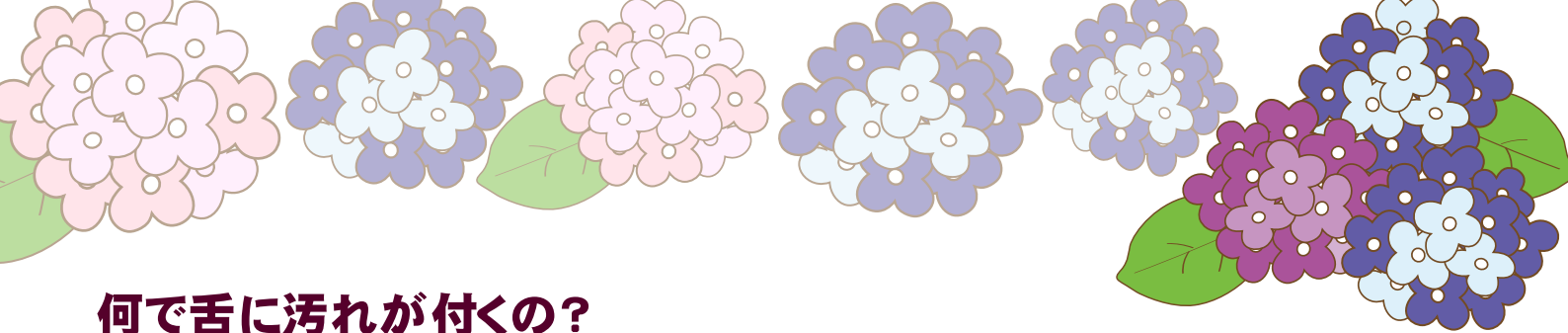
X線や内視鏡を用いて実施される、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査があります。

千歯会は積極的に摂食嚥下障害に取り組んでいます。

訪問診療でも対応していますので、不安なことがあればお気軽にご相談ください。

歯科医師：杉浦





何で舌に汚れが付くの？

舌の汚れは、食べたり話したりしたときに舌が動くことである程度はとれるのですが、加齢とともに舌の動きが鈍くなったり唾液の量が減ったりすると汚れが取れにくくなります。

そして、汚れがついたままになると舌と接する上あごも汚れやすくなります。

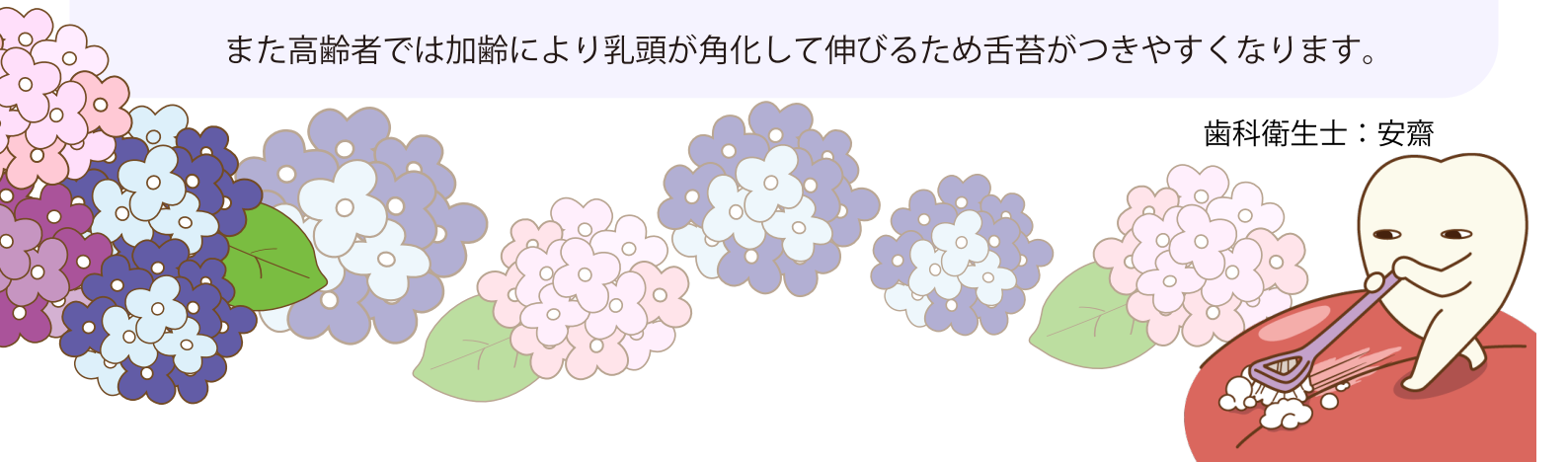
舌の表面には乳頭という小さな突起がたくさんあり、ここに汚れがたまり菌が繁殖すると白色や黄色の褐色の苔のような「舌苔」がくっつきます。

正常な状態でも舌の表面はうっすらと白い舌苔が付着していますが、苔が分厚くなると

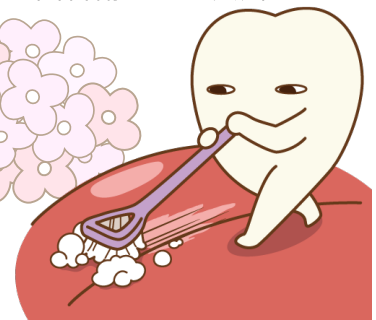
口臭の原因になったり、ひどくなると味が分からなくなったりします。

舌苔はお手入れ不足のほか、口の中の乾燥、全身疾患、薬の服用、疲労などによっても増えます。

また高齢者では加齢により乳頭が角化して伸びるため舌苔がつきやすくなります。



歯科衛生士：安齋



大網歯科医院

〒299-3236

千葉県大網白里市みやこ野 2-2-1

TEL 0475-72-6480

FAX 0475-72-8059

【訪問】

TEL 0475-73-6480

FAX 0475-53-6982

片貝デンタルクリニック

〒283-0104

千葉県山武郡九十九里町片貝 2380

TEL 0475-70-7171

FAX 0475-76-4888

【訪問】

TEL 0475-76-8201

FAX 0475-71-3472

おゆみ野総合歯科クリニック

〒266-0031

千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-3-9

TEL 043-300-3939

FAX 043-300-3940

【訪問】

TEL 043-300-3600

FAX 043-300-3700

訪問歯科診療に関するお問い合わせ

医事課直通 TEL 0475-53-6260

